



# NME News

Nutritional Management Expert News

栄養経営士のための情報紙

2021  
7月号

●発行/一般社団法人  
日本栄養経営実践協会  
(JANMP)  
〒104-0032  
東京都中央区八丁堀3-20-5  
S-GATE八丁堀9階  
●制作/株式会社日本医療企画

お問い合わせ先/一般社団法人 日本栄養経営実践協会 事務局 TEL.03-3553-2903 FAX.03-3553-2904 http://nutrition-management.jp

## 第6回「全国栄養経営士のつどい」仙台大会 130名超が全国から会場・オンラインで参加!



開会の挨拶を述べる宮澤靖代表理事

宮澤靖代表理事の開会のあいさつは、東北支部設立の報告とお礼からはじまった。2011年3月11日の東日本大震災から10年の節目を迎えたことにも触れ「今なお復興に向けて努力している人も多くと聞く。そうした地域住民に医療を提供する皆様に深く敬意を表したい」と語り、今後も安全・安心な医療・福祉の提供のために協会・会員が尽力することを誓い、開会を宣言した。

### ポストコロナに向け 栄養経営士も貢献を

# 東日本大震災から10年の節目に 東北の地で栄養経営の力が結実

日本栄養経営実践協会は第6回「全国栄養経営士のつどい」を7月18日(日)にハーネル仙台(仙台市青葉区)で開催した。今大会のテーマは「大変革期を乗り越える新時代の栄養経営」栄養経営士に課せられた役割を考える。会場とオンラインで合計134名が参加、実践報告も過去最多の8名が発表し盛況のうちに幕を閉じた。

### 栄養はすべての医療の 基本、強気に攻めよう



東北支部支部長の朝倉徹氏

続いて東北支部支部長・JCHO仙台南病院院長の朝倉徹氏があいさつに立ち「ポストコロナに向けてやるべき仕事はたくさんあり、栄養経営士にもぜひ貢献して欲しい。今回のつどいでは闊達で実りある発表や議論を期待したい」と語った。

基調講演は公益財団法人仙台市医療センター仙台オーブン病院院長の土屋誉氏が登壇、会場で講演を行った。はじめに東北地域に



基調講演の土屋誉氏は会場で東北地方の栄養活動を振り返った

おける約20年の栄養活動振り返り、NSTの稼働、栄養サポートチーム、栄養サポーターネットワーク、地域連携。ハラストと少しづつ栄養への取り組みが進んでいった様子を紹介した。

次には手術における侵襲の低減や、各種治療で栄養が与える影響について説明。回復に向け、患者の栄養管理がいかに重要であるかを説いた。

東日本大震災時の状況や亜鉛の有効性なども紹介しながら、最後に土屋氏は「高齢者の



新型コロナウイルス感染症と免疫について語った宮田剛氏

続いては、岩手県立中央病院院長の宮田剛氏がオンラインにて特別講演を行った。同院は岩手県における新型コロナウイルス感染症治療の最前線であり、実際の治療の経過で栄養について気づいたこと、考えたことを中心に話を展開した。

## 2021年度「栄養経営士」資格認定試験はIBT方式に変わります!

# 「栄養経営士」 資格認定試験

- 試験日:2021年3月22日～ ※毎日受験可能
- 受験料:9,500円(消費税・システム利用料込み)
- 実施方法:IBT(Internet-Based Testing)方式  
※インターネットを経由しスマートフォン、タブレット端末、パソコンを使用して受験
- 受験エントリー期間:2021年3月1日～(通年)
- 受験資格:管理栄養士(実務経験2年以上)かつ「栄養経営士」資格認定基礎講習修了者

「栄養経営士」資格認定基礎講習は  
WEB・DVDによる受講も可能です!

DVD受講は3枚組、特典映像  
「近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて」付き

くわしくは

検索



一般社団法人 日本栄養経営実践協会  
The Japan Association for Nutritional Management Practice

〒101-0042 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-Gate八丁堀9F  
TEL:03-3553-2903 FAX:03-3553-2904

はじめに新型コロナウイルスの特徴や発生からの出来事などを振り返り、そこから現在の感染状況やワクチンの接種状況・効果などを紹介。岩手県での医療圏ごとの対応も図とともに説明した。

次に重症化を抑えるための免疫能と腸内細菌についていくつ情報を紹介しながら「腸と免疫については沢山の文献が出ている。ぜひ調べて勉強して欲しい」と訴えた。

最後に同院で年に一度行っているという栄養に関する調査について取り上げ、NSTの成果を示しつつ「栄養の重要性が浸透した今、NSTはもっと強気でも良いのでは」と参加者に投げかけ、話を終えた。

**栄養経営士はマネジャーからリーダーへ**

午後のプログラムは栄養経営士による実践報告から始まった。

山下茂子理事が座長を務めるなか、最初に発表したのは奥尻町国民健康保険病院給食室給食係長の鈴木恵子氏。転職した奥尻とい

う新しい地で、より良い栄養活動のためどのように周囲を巻き込んで改善していったかを報告した。明るくバイタリティあふれ、聞くと人による気が伝わる報告であった。



栄養経営士の実践報告で前半の座長を務めた山下茂子理事

ラン手稲いなづみ病院診療技術部栄養科でのCOPD患者の食事摂取量増加の取り組みについて発表した。患者の栄養改善を考えた取り組みが多職種連携につながり、患者にも病院にも良い結果となったことは、同様の取り組みを行っている仲間にとって希望が持てる報告となっただろう。

前半最後は医療法人財団明理会春日部中央総合病院栄養科・係長の荻野悠斗氏が自院で行った栄養部門の組織改革について報告した。雰囲気が悪く退職者が相次ぐ職場から、いかにして組織と業務を改善し、働きやすい職場へと変えていったかを順を追って説明した発表は、職場改善の悩みを持つ人はぜひ参考にして欲しい。

実践報告の後半は、吉田貞夫理事が座長となり、社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院食事部栄養課・主任の畠山朋子氏による食事提供の改善についての活動報告から始まった。日々の業務で抱いた疑問から勉強会を立ち上げ、そこか

ら1つひとつ積み重ねるように解決する姿は、業務改善のお手本のようにであった。



実践報告の後半は吉田貞夫理事が座長に

利尻島国保中央病院診療部栄養科の中家瞳氏は、大会ではじめてとなるVRアバターを使用して発表を行った。挑戦したのは離島での病院給食の委託化という難題であったが、見事導入を果たし、栄養部門の業務改善に成功した。まだいくつか課題は残るものの、病院経営改善に向けて大きく貢献したことは間違いない。

医療法人溪仁会手稲溪仁会病院栄養部副部長手稲家庭医療クリニック 鶴飼真千子氏は給食の委託化により管理栄養士業務への集中を可能にした。給食満足度の目標値を保ちつつ、病棟栄養管理100%・新しい管理栄養士業務にも着手した成

果はとても大きい。社会医療法人博愛会相良病院栄養管理科の今給黎菊代氏はがん治療時の食事提供の改善について報告した。栄養状態を悪化させず患者のQOLを上げるために調理担当者が病棟訪問に同行、より充実した対応が可能となったほか、患者との直接交流がスタッフのモチベーションアップにもつながったという。他職種を巻き込んだ取り組みは参考になる部分が多いのではないだろうか。

**多彩な立場の回答が新たな気づきにつながる**

今回のつどいではスペシャルセッションとして栄養経営士サロンを開催。これは月に一度オンラインで開催しているもので、会場で行うのは初の試みであった。宮澤代表理事が司会進行を務め、吉田理事、眞壁代表理事のほか発表者も回答者として参加。事前に参加者から寄せられた質問について、指名された人が回答していくというスタイルで行った。給食を部分委託から全面委託にしたい、栄養サマリーを地域で推進したいといった業務上の悩みから、仕事をしているうえで一番大切にしているものは何かという職務に対する姿勢まで、多様な質問が取り上げられた。それぞれ違った立場や経験から語られた回答には新たな気づきや発見があり、明日からの業務の参考になったのではないだろうか。

最後は協会監事の古畑公氏より「非常に厚みのある発表だった。来年もぜひ、皆さんが積み上げた実績をより良い発表につなげていって欲しい」とのあいさつがあり、第6回「全国栄養経営士をつどい」仙台大会は幕を下ろした。

※会場の音声が乱れ聞きづらい箇所が発生いたしましたことをお詫び申し上げます。



閉会の挨拶を行う監事の古畑公氏

**■協賛企業一覧**

- アイドウ株式会社、株式会社ナリコマエンタープライズ、ニュートリー株式会社、株式会社フィン、株式会社フーズリンク、株式会社ヘルシーネットワーク、ホリカフーズ株式会社、株式会社マステック、株式会社日本医療企画、一般社団法人日本医療経営実践協会、一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会(順不同)

**\*栄養経営士オンラインサロン**

第8回 8月31日(火)  
第9回 9月27日(月)  
各回 18時30分~20時予定  
★協会HPにて参加者募集中!



実践報告の総評を語る秋山和宏副代表理事

全員の発表後に秋山和宏副代表理事が「実践報告をした皆さんはすでにマネジャーの枠を超え、リーダーになっていくと感じました。ぜひ今後もリーダーシップを発揮しながら行動して欲しい」と総評を述べ、実践報告は終了した。



会場はしっかりと感染対策を行い参加者は理事・演者を含め少人数で開催された

# 第6回 全国栄養経営士のつどい 仙台大会 栄養経営士による実践報告・発表者からのメッセージ

●報告テーマ

## 傷つかず悪目立ちしないで始める栄養経営 ～反省を踏まえた私の経験から



奥尻町国民健康保険病院給食室  
給食係長 鈴木 恵子さん

傷つくのは怖いけれど栄養経営はしてみたい。一人でもそんな栄養経営士の背中を押すことができたらの思いで、再び発表しました。

報告者に共通していたのは、自ら気づく・考える・周りを巻き込みながら実行し結果を出している点だと思いました。宮澤先生はじめ栄養経営士と関係者の前で直接発表したこと、その場の空気感からも励ましていただきました。このまま夢に向かい突き進んでいいんだと安心しました。じつはパワーポイント作成は初めてだったのですが、溢れ出るように伝えたいことがありました。さらに奥尻島の観光も紹介したくてスライド説明は割愛せざるを得ませんでした。

旧知のスタッフから「鈴木節全開でしたね」とメールが来ました。私らしい発表だと本人は満足しています。

●報告テーマ

## 栄養サポートチームにおける NST加算の影響と活動意義の再考



公立大学法人福島県立医科大学  
会津医療センター附属病院  
中央診療部門栄養管理部 小林 明子さん

実践報告の準備を通して、業務を振り返りその意義について考えを深めることができました。この機会を与えていただきましたことに感謝しています。拙い内容でしたが、たたき台として議論を深めたりどなたかの「困りごと」の解決に少しでも役立てていただければ、そんな想いで準備を進めました。日常業務の中で直面する疑問や課題の解決に取り組み、発信し、フィードバックを受けることは更なる成長や成果に繋がっていくと思いますので、ぜひぜひ多くの実践報告をいただき、アイデアを共有しディスカッションできればよいと思います。

今年、東北支部も始動し、仲間の輪を広げ、お互いに支え合い高め合っていく仕組み創りに協力していきたいとの想いを強くしました。

●報告テーマ

## COPD患者の 食事摂取量増加に対する取り組み



株式会社LEOC  
(前所属:社会医療法人アルデバラン  
手稲いなづみ病院 診療技術部栄養科) 園田 恵さん

今回の報告に向けた準備の際に、この項目はどうだったのだろうか?と思うことが多々ありました。個人的にも印象深い症例だったので、冷静な視点でみるチャンスが得られ、とても新鮮に感じる部分もありました。

当日の活動報告はとても緊張しました。しかし、パネリストの約半数が北海道からの参加者ということで、それだけで少しホッとしている自分がいました。先生方から貴重なアドバイスをいただき、次に活かすためにはどのように工夫したらよいかを考える機会となりました。この度は貴重な機会をいただき、ありがとうございました。

●報告テーマ

## 栄養科を“ONE TEAM”に ～前進する組織をつくる～



医療法人財団明理会 春日部中央総合病院  
栄養科係長 萩野 悠斗さん

この度はコロナ禍という大変な状況の中、発表の機会をいただいた協会理事の皆様、関係者並びに運営スタッフの皆様にご感謝申し上げます。

マネジメントは誰に教わればよいのか? 今まで教わってきたことはなく、所属長と任命されたときから、今までの上司の真似をしたり、ビジネス書を読みあさったり、他施設の先輩に相談してみたりと模索しております。

今回そのような中で取り組んだ「栄養科の体制化」について実績報告をさせていただきました。発表を通してアドバイスをいただいたり、同じ悩みを共感することができたりとても刺激的な1日となり、共有する場があることについてとてもありがたく、またうれしく感じました。また同じ舞台に立てよう、これからも邁進していきたいと思っております。

●報告テーマ

## 少しでも適切な食事提供のために 取り組んだ活動報告



社会医療法人社団愛心館愛心メモリアル病院  
食事部栄養課主任 畠山 朋子さん

今回、オンラインにて全国栄養経営士のつどいで実践活動報告をさせていただきました。1か月前の私は、まさか自分が全国栄養経営士のつどいで実践活動報告をさせていただくことになるとは想像もしていませんでした。

日々業務に追われるなか、今までのことを振り返るよりも目の前の課題に気持ちが行きがちで、できていないことは沢山あるけれど発表できるような活動は何もないと思っていました。

今回、実践活動報告をさせていただいたことは、過去を振り返ると同時に、この先のことも考えるととても良い機会となりました。参加に導いていただきました事務局の横尾様に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、このような貴重な機会をいただき関係者の皆様へ心より感謝申し上げます。

●報告テーマ

## 給食から利尻島を改革する ～窮地に追い込まれた給食運営を立て直せるのか～



利尻島国保中央病院  
診療部栄養科 中家 瞳さん

今回の現場報告者は北海道からの参加者が多く、とても楽しみにしておりました。私は栄養士界では初めて(?)の試みと思われる、VRアバターを使用したの発表に挑戦しました。これを機に今後少しでも気軽に発表する人が増えるといいなと思います。

またオンラインでの発表は、私のように遠方在住者には大変ありがたいシステムだと感じております。これにより栄養経営士の質の底上げにもつながるかと思っておりますので、コロナが収束してもオンライン開催は継続していただきたいです。

終了後に秋山先生がお話された、リーダーとマネージャーの違いについての該当の本を拝読しました。より今の組織で何をしなければならぬかが明確に見えてきたため、これからも仕組みをつくり続ける管理栄養士を目指していきたいと思っております。

●報告テーマ

## 給食業務の委託化における 管理栄養士業務への集中



医療法人 溪仁会 手稲溪仁会病院  
栄養部副部長  
手稲家庭医療クリニック 管理栄養士 鵜飼 真千子さん

このたびは実践報告の機会を頂いたことで新たな学びを得ることができました。また、尊敬する吉田先生と山下先生のお二方が座長を務められるなかでの発表は貴重な経験となり、この場をお借りして感謝申し上げます。

実践報告を通して、経験を言語化することで確実な振り返りができました。その内容をアウトプットすることでプロセスや結果、今後の課題がより明確化し、さらにフィードバックが得られることは今後の成長につながる貴重な機会であると感じました。また、他の先生方の素晴らしい事例発表を拝聴するうち、自身の経験との対比から新たな気づきや学びを得ることができました。この経験を糧として今後も研鑽を積み重ねていきたいと思っております。ありがとうございました。

●報告テーマ

## がん治療に伴う、あらゆる症状やニーズに 対応できるフレキシブルな食事提供を目指して ～共に考え、共に歩む～



社会医療法人博愛会 相良病院  
栄養管理科 今給黎 菊代さん

はじめて参加させていただきましたが、それぞれの環境で、栄養経営士の皆さまによる素晴らしい取り組みが行われており、その報告を聞き大変勉強になりました。

当院での取り組みも4月に目標を掲げ、患者さんのために動き出したスタッフの行動をまとめる機会となり、また他施設の取り組みを拝見させていただくことで今後どのようにして取り組んでいけばよいかを考える機会となりました。患者に寄り添う栄養サポートの充実に向けて、スタッフ一同さらに取り組んでいきたいと思っております。

今回はオンラインでの参加で会場の熱い雰囲気は感じ取れませんが、栄養経営士の熱い思いは十分伝わりました。次回は会場に参加したいと思っております。

栄養経営士が知っておきたい!

# イベント 情報掲示板

栄養経営士に求められるのは、さまざまな情報へのアンテナを張り、自身の知識・スキルを常にアップデートしておくこと。そのための貴重な機会である、全国で開催されるイベント情報を、支部の研究会を中心に掲載します。

※新型コロナウイルス感染症対策で、イベントが中止になる場合があります。必ず最新情報を確認してください。

## 九州支部

### ひまわり先生の交流分析学を用いた 医療者のためのコミュニケーション実践講座

「上手く話せない人がある」「注意したりほめたりするのが苦手」など、コミュニケーションに悩みを抱える方におすすめの講座です。自分のタイプを知り、自分と他人の違いを理解することで、それぞれのタイプ別に合わせた話し方がわかります。

- 日程：第1回 2021年8月22日(日)13:00~16:00「タイプ別の見分け方」  
第2回 2021年9月19日(日)13:00~16:00「好みとストレス反応」  
第3回 2021年10月17日(日)13:00~16:00「タイプ別の接し方」
- 講師：米倉けいこ氏(株式会社メンタルサポート研究所)
- 形式：オンライン開催 (Zoom使用) ※ライブ配信のみ
- 参加費(税込)：1日参加 会員：4,000円 一般：5,000円  
全参加 会員：10,000円 一般：13,000円
- お問い合わせ：株式会社日本医療企画 九州支社(担当:中野)  
TEL:092-418-2828

## 協会事務局より

### 2021年8月期限の会員の皆様へ 【年度会費納入および資格更新のご案内】

本年8月に年度会費・会員資格の有効期限を迎える会員の皆さまに、当協会より、年度会費納入および資格更新のご案内を郵送しております。振込み期限は過ぎておりますが、事務局ではまだ手続きを受け付けております。対象の方はご確認およびお手続きのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

- 年度会費：有効期限が2020年8月20日~2021年8月19日の方  
【個人正会員】10,000円  
【栄養経営サポーター】8,000円
- 資格更新：会員資格が2018年8月20日~2021年8月19日の方  
【個人正会員】15,000円(年度会費込み)  
※申請書類・課題をご提出ください。  
【栄養経営サポーター】13,000円(年度会費込み)
- お問い合わせ：一般社団法人日本栄養経営実践協会 事務局  
TEL：03-3553-2903

## 管理栄養士業務改革セミナー【栄養経営編】

# 給食管理と栄養管理 コロナ禍でもできる運営ポイント

~自分の給料は自分で稼ごう~

管理栄養士の業務改革を進めるにあたっては、まずは栄養部門の収支を把握し、それをもとに運営することが重要となります。コロナ禍でも栄養部門の収益をつくるためには、どのような取り組みを行って部門を運営すればよいのでしょうか。急性期単科病院の名古屋ハートセンター管理栄養士主任 島田晶子氏を講師に迎え、栄養部門の現状を理解し、そこから見えてくる課題を整理して、何から業務改革を行うべきかを考えます。一緒に業務改革を進めていきましょう!

### ★こんな悩みをお持ちの管理栄養士さんにおすすめ!

- 業務改善を進めたいが何から取り組めばいいかわからない
- 栄養科の運営の仕方がわからない
- 栄養経営を学びたい

一人ひとりが栄養経営の視点を持って、  
今後も活躍できる管理栄養士と一緒に目指していきましょう!

〈主催〉株式会社日本医療企画中部支社  
〈後援〉一般社団法人日本栄養経営実践協会東海支部  
〈お問い合わせ〉日本医療企画中部支社(担当:山田)  
TEL:052-209-5451  
メールアドレス:yu-yamada@jmp.co.jp



お申込みは  
こちらから

### 2021年9月25日(土) 14:00~15:30

- 開催方法:オンライン(Zoomウェビナー)+会場(人数制限あり)
- 定員:200名(会場は限定10名まで)
- 会場:日本医療企画中部支社セミナールーム  
(愛知県名古屋市中区栄2-12-12 アーク栄白川パークビル 3階)  
※新型コロナウイルス感染症の状況によってオンラインのみとなる場合がございます。
- 受講料:【会員・雑誌\*定期購読者】3,000円  
【一般】4,000円【学生】2,000円  
\*雑誌:『ヘルスケア・レストラン』『栄養経営エキスパート』(いずれも日本医療企画刊)



講師 島田 晶子氏(しまだ・あきこ)

医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター管理栄養士主任  
管理栄養士/介護福祉士/病態栄養専門管理栄養士/心臓リハビリテーション指導士/在宅訪問管理栄養士/心不全療養指導士/日本栄養経営実践協会東海支部理事

# 「栄養経営士」資格認定基礎講習DVD



資格認定試験の受験前に、「栄養経営」という考え方を理解するために受講いただく講習です。本講習の受講が、栄養経営士資格認定試験の受験要件となります。

**DVD視聴による受講が可能!**  
★3枚組、特典映像付き★

**栄養経営士も会員価格で聴講できます!**

- 【こんな方におすすめ】
- 会場で受講したが、内容を復習したい
  - 栄養経営士の方向性を、改めて確認したい
  - 栄養経営士として、もう一度、話を聞きたい ……

本編(収録時間/DISC 1:90分、DISC 2:73分)

- 1.院内・施設内における栄養部門の現状分析
- 2.目標設定能力と達成に向けた実践的アプローチ
- 3.業務の質を高めるためのアウトカム分析
- 4.「栄養経営士」に求められる教育と人事能力
- 5.適材適所の組織マネジメント
- 6.病態の把握能力

特典映像(収録時間/DISC 3:約30分)

観てわかる!近森病院に学ぶ実践マネジメントのすべて

- 講師：宮澤 靖 代表理事ほか
- 受講料：8,500円(税込) 会員価格：3,850円(税込)